

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科		科目		単位数	履修上の留意点	
理科		化学基礎		2		
指導 目 標	・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。					
	教科書			副教材等		添削指導
	改訂新編化学基礎					6回
	多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無			☐ 実施している ☒ 実施していない	多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数	
面接指導 該当なし						
添削指導（レポート）						
回	学習内容				対応する 面接指導の回	提出期限
1	物質の成分と構成元素				1	4月21日
2	原子の構造と元素の周期表				2	6月23日
3	化学結合				3	7月14日
4	物質量と化学反応				4.5	11月10日
5	酸と塩基				6.7	12月8日
6	酸化還元反応				8	12月15日
面接指導(スクーリング)						
回	単位時間	学習内容			実施場所	実施日
1		物質の成分や構成元素について理解させる。物質の三態についても理解させる。			各学習センター	4月
2		原子の構造を理解させる。周期表について理解させる。			各学習センター	5月
3		周期表について理解させる。更に、イオンについても理解させ、イオン結合についても理解させる。			各学習センター	6月
4		さまざまな化学結合について理解させる。			各学習センター	7月
5		物質量について基礎的知識を理解させる。			各学習センター	10月
6		溶液の濃度の求め方、化学反応式について理解させる。			各学習センター	11月
7		酸と塩基について理解させる。			各学習センター	12月
8		酸化還元反応について理解させ、応用を考察させる。			各学習センター	12月
多様なメディアを利用した学習						
計画段階では実施予定なし						
試験						
回数	試験範囲				実施場所	実施日
1	レポート1～6				各学習センター	9月
2	レポート7～12				各学習センター	2月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準						
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。 所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。						
その他						
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。						